



GIOCOSO RAID

WIND ORCHESTRA

6th TENGOSU Concert



2026 **7.5** Sun.

♪ 開場 16:30 ♪ 開演 17:00

♪ 会場 高槻城公園芸術文化劇場 北館中ホール
(阪急 高槻市駅から徒歩約8分)

♪ 入場無料

●Soloist●



野元 優花 Oboe, English Horn
オーボエを12歳より始める。当時全く希望していなかったオーボエを担当することになったが、持ち前の自信家な性格と態度のでかさから、ソロをたくさん担当するオーボエは自分にピッタリな楽器だと感じているらしい。その堂々たる演奏や輝かしい音色は、金管楽器に混ざっても埋もれる事はないと言われている。
演奏のモットーは「ドヤ顔で気持ちよく吹く」



松尾 匠馬 Clarinet
中学校入学当初はテニス部だったものの自転車で転んで骨折したことをきっかけに吹奏楽部に転部。14歳よりクラリネットを始める。界限トップクラスのフツ軽で色んな演奏会に出没している。そしてどこにいても彼の笑い声はよく響く。でかい。アザラシとサーモンをこよなく愛する。
演奏のモットーは「自由に、そして大胆に」



坂口 慎吾 Alto Saxophone
12歳よりサックスを始める。ロングトーンをこよなく愛する人生を送っている。ロングトーンによって磨き上げられたその音は「10まんボルト」と呼ばれており、とにかくよく響く。当楽団の立ち上げから今日に至るまで、全てのステージに上がり続けている唯一の奏者であり、彼の刺激的なサウンドが当楽団の目印である。演奏のモットーは「呼吸を整え、祈り、吹く(´・ω・`)」



大橋 鈴奈 Piano
5歳からピアノを始める。コンクールなどに多数出場し、受賞経験あり。15歳でレッスンを受けるのを辞めるが、18歳で吹奏楽に出会い、以降は吹奏楽や伴奏をメインにピアノの演奏を続けている。当団の末っ子たる彼女の天真爛漫さとは裏腹に、ピアノを演奏している姿はとてもカッコよく、ストイックな一面も持ち合わせている。
演奏のモットーは「我ならでる！」

●Program●

1部 : コンチェルトステージ

- ・笑顔は、、、音楽を奏でる

アルトサクソフォーンとウィンドアンブルのために / 清水 大輔

Alto Saxophone Solo : 坂口 慎吾

- ・ホボ・サピエンス / Dietrich Van Akelyen

Oboe, English Horn Solo : 野元 優花

- ・クラリネット協奏曲 / Martin Ellerby

Clarinet Solo : 松尾 匠馬

2部 : コンチェルトステージ

- ・ラプソディ・イン・ブルー / George Gershwin (arr.小松 淳史)

Piano Solo : 大橋 鈴奈

3部 : 吹奏楽ステージ

- ・エアーズ / 田嶋 勉

- ・詩的間奏曲 / James Charles Barnes

- ・シアターミュージック / Philip Sparke